

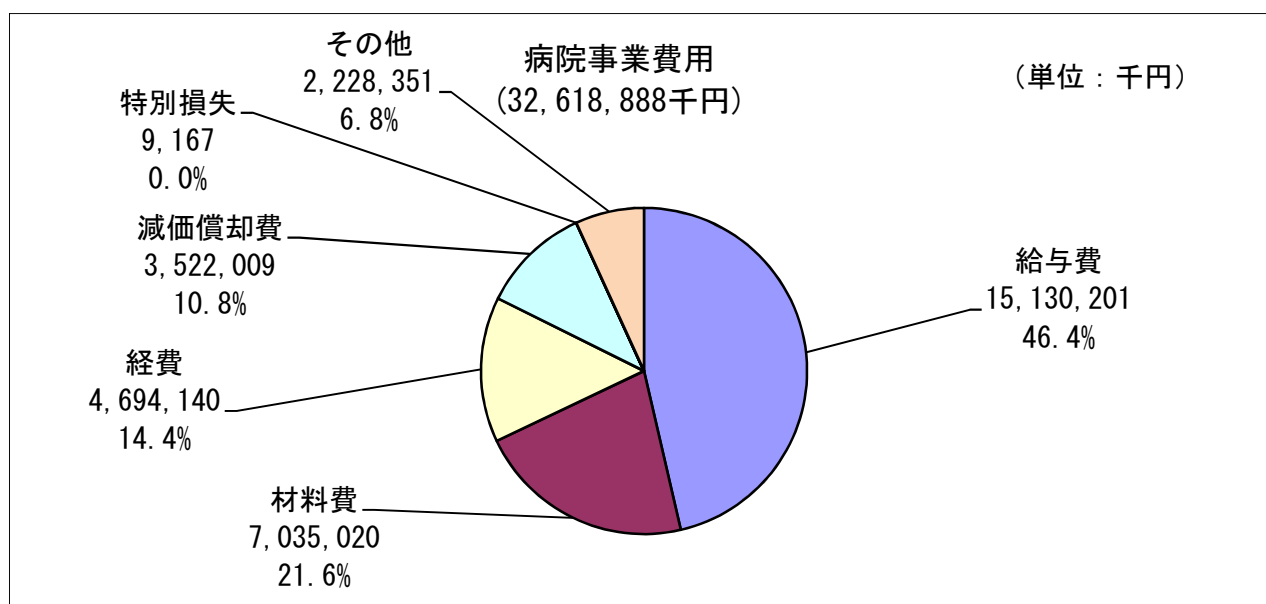
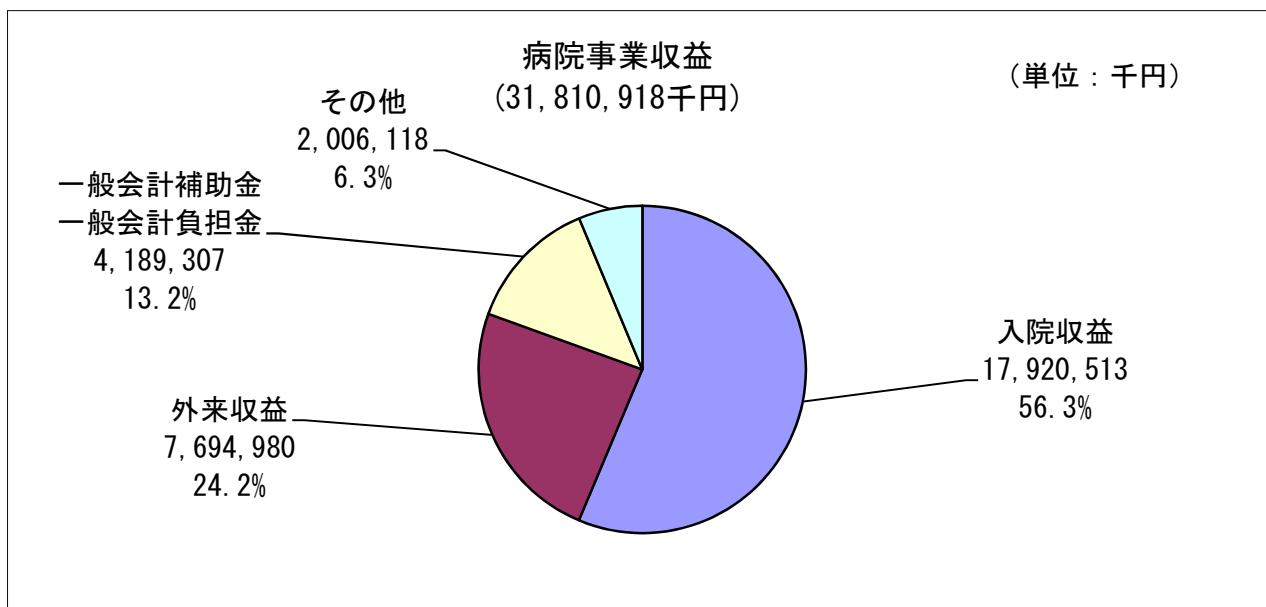
名古屋市病院事業会計 平成29年度決算の概要

1 病院事業全体の収支

名古屋市病院事業は、東部医療センター、西部医療センター及び緑市民病院（指定管理者による運営）の3市立病院を設置し、市民の皆さまに医療の提供を行ってまいりました。

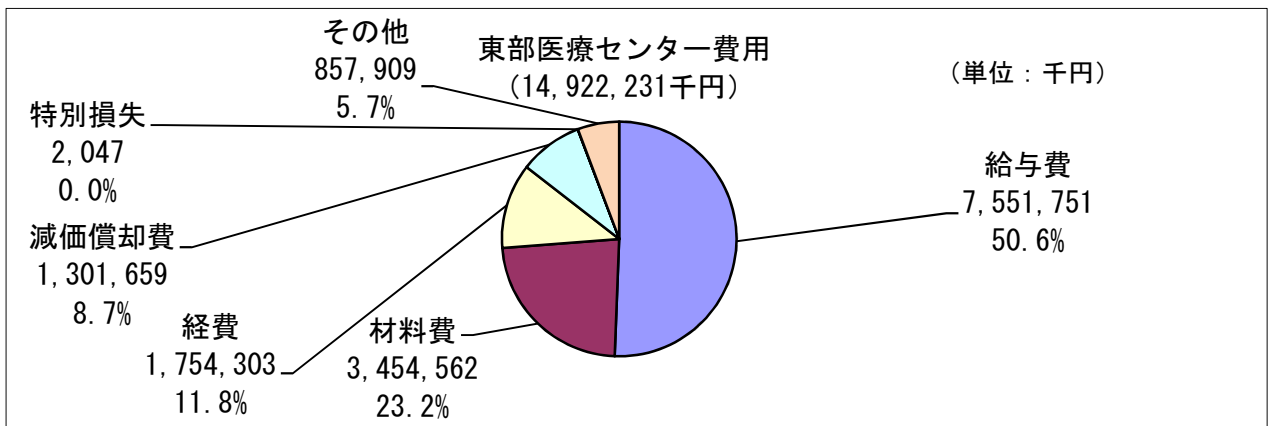
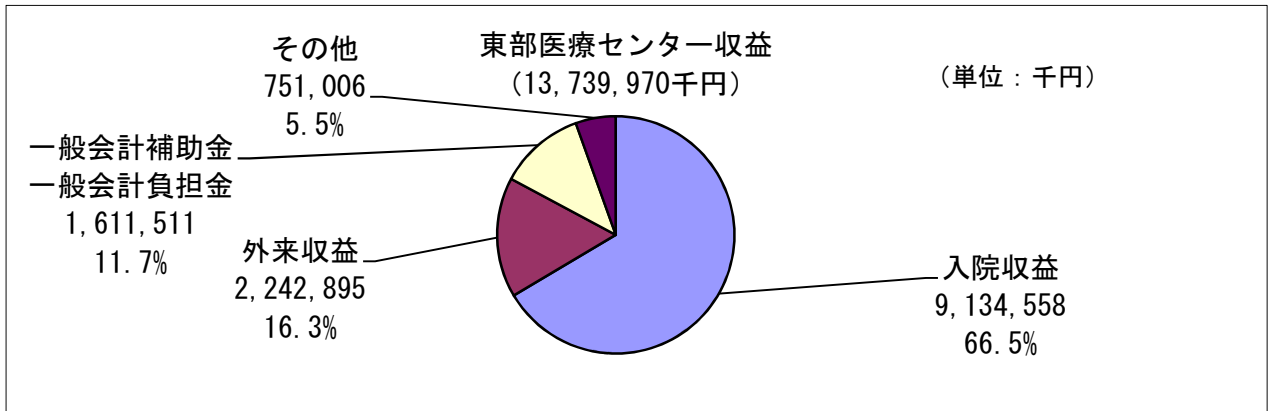
平成29年度における病院事業会計の収益的収支は、総事業収益は、前年度に比べ医業収益が増加したことなどに伴い、2億4千6百万円余増の318億1千万円余であるのに対し、総事業費用は、材料費が増加したことなどに伴い、4億3千1百万円余増の326億1千8百万円余となりました。その結果、8億7百万円余の当年度純損失となり、当年度未処理欠損金は95億9千2百万円余となりました。

平成29年度は主な建設改良事業として、東部医療センターでは病棟改築工事、西部医療センターでは病歴管理室改修工事を行い、東部医療センターの超音波画像診断装置、西部医療センターの病院情報システム、緑市民病院の放射線検査機器など、各病院の設備充実に努めました。

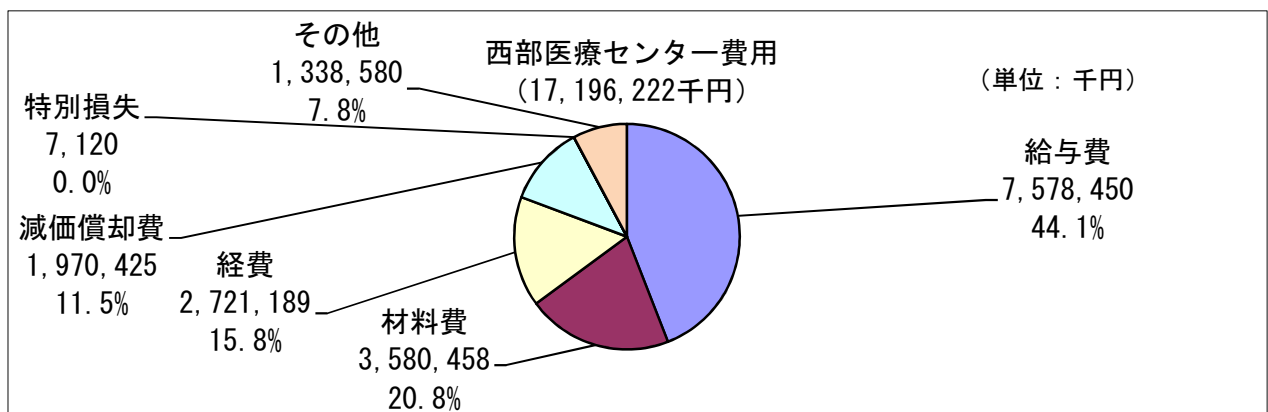
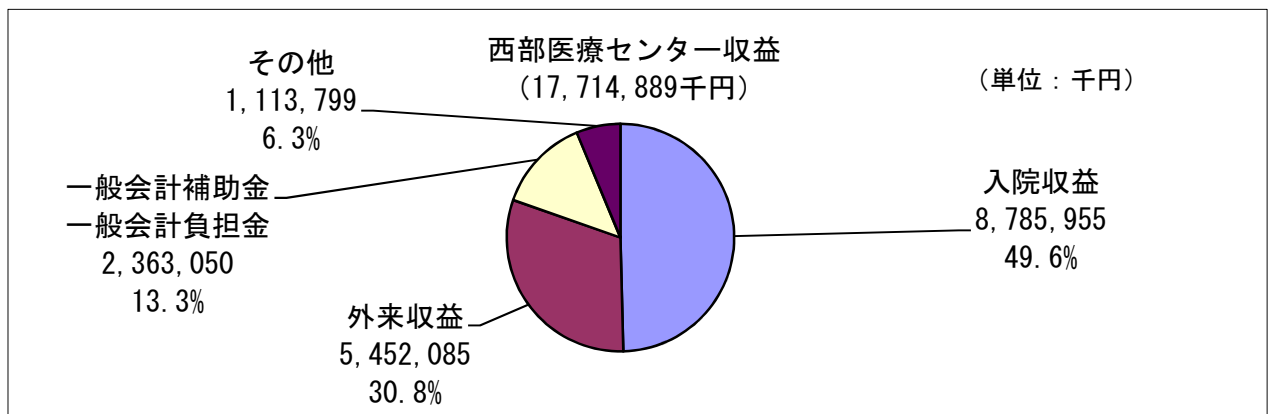


2 各病院の収支

(1) 東部医療センター



(2) 西部医療センター



(3) 緑市民病院

